

今号のコンテンツ

- **マイナビ・レジデントフェスティバル」出展のご報告**
- **第54回日本医学教育学会大会について：
日本医学教育学会・社会医学系専門医協会合同シンポジウム**
- **第32回 日本疫学会学術総会のご報告**
- **第92回 日本衛生学会学術総会のご報告**
- **学会開催案内**
第95回 日本産業衛生学会
- **事務局からの連絡**

「マイナビ・レジデントフェスティバル」出展のご報告

順天堂大学医学部公衆衛生学講座

和田 裕雄

(1) 目的・成果

令和3年度厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）「シームレスな垂直・水平統合を指向した社会医学系領域の医師のキャリアとコンピテンシーの確立」の研究課題の一環で、社会医学領域・公衆衛生学領域の医師のキャリア明示およびコンピテンシー明示のため、学部学生への卒後臨床研修の情報提供イベント（マイナビ・レジデントフェスティバル）へ出展しました。

令和4年2月6日（日）東京開催（対面イベント）では、当日ブースへ来場し説明を受けた学生は43名でそのうち来場登録をした学生は23名でした。

令和4年3月23日（水）オンライン開催では、2時間の開催で合計75名が参加しました。

両回とも参加した学生からは、「社会医学専門医は公衆衛生医との違い」や、「災害医療に参加する為に必要なスキル・資格」、「社会医療系専門医はどこでプログラムを取れるのか」等のたくさんの質問があり、前者では磯先生（大阪大学、日本公衆衛生学会理事長）と車座対話を繰り広げ、後者は出席した先生方からスライド等を使用しながら説明を行いました。

また、対面イベントでは、マンガでわかるパンデミック時代の選択—社会医学系専門医への道—、マイナビ RESIDENT 連載記事社会医学系専門医の「いま・未来」の記事の印刷物を配布し、社会医学系専門医についてのアンケートを実施しました。

(2) 開催状況の写真



(3) 学生の皆さんへ

社会医学領域・公衆衛生学領域の医師になると、どういう人生が展開するのか、様々な機会にお話しいたします。次は大阪開催の5月1日（日）で同様の展示を行います。キャリアについて一緒に考えてみましょう。

【開催案内】

「マイナビ・レジデントフェスティバル」大阪会場（梅田スカイビル）

5月1日（日）12時00分～16時00分

URL <https://resident.mynavi.jp/events/detail/4041>

第54回日本医学教育学会大会について：日本医学教育学会・社会医学系専門医協会合同シンポジウム

順天堂大学医学部公衆衛生学講座

和田 裕雄

(1) 第54回日本医学教育学会大会

日本医学教育学会・社会医学系専門医協会合同シンポジウムのご案内

第54回日本医学教育学会大会（2022年8月5日（金）・6日（土）：大会長 群馬大学 石崎 泰樹先生 <https://www2.aeplan.co.jp/jsme54/>）で、日本医学教育学会・社会医学系専門医協会合同シンポジウム『これからの医学研究について考える』を開催いたします。

日時：2022年8月5日（金）夕方

場所：Gメッセ群馬（高崎）

(2) 学生の皆さんへ

将来、医師としてのキャリアを積むにあたり、大学でも市中病院でも診療と（学生および後輩医師の）教育、そして研究は欠かせません。学位はもちろん専門医を取得するためにもろんっ文発表は求められます。本シンポジウムでは、医学教育の先生方と医学研究について語り合います。研究も視野に入れた自分のキャリア展開、一緒に考えてみませんか。

第54回日本医学教育学会大会
<https://www2.aeplan.co.jp/jsme54/>

会期

2022年8月5日（金）～6日（土）

プレカンファレンスワークショップ 8月4日（木）

テーマ

 「まもる ささえる 医学教育：文化の醸成
 ～時代のニーズに応える医療のために～」

 SUPPORTING MEDICAL EDUCATION, AND
 DEVELOPING A CULTURE FOR PATIENT SAFETY.
 ～ MEETING NEEDS OF THE ERA ～

会場
大会

 G メッセ群馬（群馬コンベンションセンター）
 〒370-0044 群馬県高崎市岩押町 12 - 24

プレカンファレンスワークショップ

 群馬大学昭和キャンパス
 〒371-8511 群馬県前橋市昭和町 3 丁目 39 - 22

大会長：石崎 泰樹（群馬大学 学長）

実行委員長：鯉淵 典之（群馬大学大学院医学系研究科 応用生理学分野 教授）

大会事務局：群馬大学大学院医学系研究科 医学教育センター内
 〒371-8511 群馬県前橋市昭和町 3-39-22

運営準備室：株式会社エー・イー企画内
 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-4-4 一ツ橋別館 4 階
 TEL：03-3230-2744 FAX：03-3230-2479
 E-mail：jsme54@aeplan.co.jp

第 32 回日本疫学会学術総会のご報告



第 32 回日本疫学会学術総会会長

千葉大学 予防医学センター 社会予防医学研究部門

国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター 老年学評価研究部長

近藤 克則

2022 年 1 月 26-28 日に Web 開催しました（オンデマンド配信は 3 月 13 日まで）第 32 回日本疫学会学術総会についてご報告します。

「現地+Web のハイブリッド開催」で準備を進めていましたが、2022 年 1 月 6 日の全国の新規感染者数が、9 月以来となる 4475 人となり、沖縄県など 3 県にまん延防止等重点措置が発令されたのを受け、学会初日まで 3 週間を切った 7 日に、現地開催を中止と決定し、Web のみ開催としました。

学術総会のテーマは「社会と疫学」とし、Ichiro Kawachi 教授（ハーバード大学公衆衛生大学院）による特別講演「New directions for disaster research and social epidemiology」、6 つのシンポジウム、2 つの教育講演、関連行事として、疫学セミナーやプレセミナーなどを企画しました。社会医学系専門医・指導医単位としては、メインシンポジウム「社会疫学から疫学の未来を展望する」、シンポジウム「ポスト/ウィズ “コロナ” 時代の疫学—新型 “コロナ” 感染症からの教訓」、疫学セミナー「人工知能で広がる疫学の世界」、教育講演「臨床研究に関する利益相反の考え方」の企画をしました。会長講演では、「社会と疫学」と題し、社会疫学研究を振り返り、現在進行形のゼロ次予防に向けた産官学連携による介入研究、社会実装、情報疫学などについて、今後の展開の可能性を述べさせていただきました。

一般演題数は 322 演題、参加者数は、3 月 13 日時点で 1141 人、疫学セミナーは 441 人の方に視聴していただきました。

本学術総会が、社会医学系専門医制度の発展に多少なりとも寄与できたことを光栄に思います。社会医学系専門医協会、およびその構成学会・団体の皆さまをはじめご参加いただいた方々、いろいろな形で御協力・支援していただいた皆さまに感謝します。ありがとうございました。

第 92 回日本衛生学会学術総会のご報告



第 92 回日本衛生学会学術総会 会長
兵庫医科大学医学部公衆衛生学主任教授
島 正之

この度、第 92 回日本衛生学会学術総会を 2022 年 3 月 21 日～23 日の 3 日間にわたりオンラインで開催しました。兵庫県西宮市で対面式の開催を予定していましたが、新型コロナウイルスによる感染が急拡大している状況を鑑み、完全オンライン方式に変更しての開催となりました。また、特別講演やシンポジウム等は 4 月 19 日までオンデマンド配信を行い、会期後にも視聴できるようにしました。

本学術総会のテーマは「ポストコロナ社会の衛生学」としました。ポストコロナ社会の到来はまだ先になりそうですが、本総会ではポストコロナ社会を見据えたテーマについても数多くの発表が行われました。一般演題（口演・ポスター）はほぼ例年並みの 216 題、シンポジウム 7 題、特別講演 1 題、教育講演 3 題、次期会長講演、学会賞受賞講演、自由集会、共催セミナーなど、充実した企画となりました。また、社会医学系専門医・指導医講習会のほか、シンポジウムや教育講演についても単位認定の対象としていただきました。

メインシンポジウムは「プラネタリーヘルス：人新世の健康・社会・環境」と題して、プラネタリーヘルスの概念の確立を先導してこられた豪州モナシュ大学の Anthony Capon 教授の基調講演の後、国内でこの分野を先導されている 4 名の先生方に話題を提供していただき、オンラインではありましたが、活発な討論が行われました。また、国際シンポジウム「ポストコロナの健康管理・疾病予防に対する森林医学の役割」では、7 か国の演者にオンラインで参加していただき、各国における取り組みをご紹介いただきました。市民公開講座は「環境汚染を克服して未来志向の衛生学へ」をテーマとして、過去の環境問題に対して衛生学が果たしてきた役割を振り返り、今後の展望について語り合いました。その他のシンポジウムや一般演題もオンラインでの発表ではありましたが、いずれもライブで熱心な質疑応答が行われました。

以上のとおり、コロナ禍の中でのオンライン開催となりましたが、充実した内容の学術総会を開催できたと考えております。最後になりましたが、本学術総会の開催にあたりご支援、ご協力をいただきました関係者の皆さまに厚く御礼申し上げます。

学術集会のご案内

 第95回日本産業衛生学会 <https://sanei-shikoku.jp/>


The 95th Annual Meeting of Japan Society for Occupational Health
 Beyond the Century
 新しい時代の働き方と産業保健
 持続可能な社会を目指して
 第95回 日本産業衛生学会
 会場およびライブ配信
 オンデマンド開催
 会期
 2022年 5月25日(水)~5月28日(土) 2022年 6月16日(木)~6月30日(木)
 会場
 高知県立県民文化ホール/ザ クラウンパレス新阪急高知 高知会館/オーテピア
 企画運営委員長 菅沼 成文 (高知大学医学部環境医学教室 教授・医学部長)
 [URL] <https://sanei-shikoku.jp/>
 第95回日本産業衛生学会事務局
 高知市丸の内一丁目2-20 高知県庁総務部職員厚生課内
 E-mail: 95sanei@ken.pref.kochi.lg.jp

会期

2022年5月25日(水)~5月28日(土)

会場およびライブ配信

▶ 令和4年5月25日(水)~28日(土)

オンデマンド開催

▶ 令和4年6月16日(木)~30日(木) (予定)

テーマ

新しい時代の働き方と産業保健

-持続可能な社会を目指して-

会場

高知県立県民文化ホール

〒780-0870 高知市本町4丁目3-30

TEL: 088-824-5321

ザ クラウンパレス新阪急高知

〒780-8561 高知市本町4丁目2-50

TEL: 088-873-1111

高知会館

〒780-0870 高知市本町5丁目6-42

TEL: 088-823-7123

オーテピア

〒780-0842 高知市追手筋2丁目1-1

TEL: 088-823-4946

企画運営委員長: 菅沼 成文 (高知大学医学部 環境医学)

事務局 長: 杉原 由紀 (高知県庁職員厚生課 職員健康推進監)

学会事務局

第95回日本産業衛生学会事務局

高知市丸の内一丁目2-20 高知県庁総務部職員厚生課内

E-mail: 95sanei@ken.pref.kochi.lg.jp

事務局からのお知らせ

【会員専用ページがオープンしました】

会員専用ページを3月に開設いたしました。

会員専用ページ：<http://shakai-senmon-i.umin.jp/specialist/memberpage/>

会員専用ページにログイン後、年間登録料の納入状況の照会、住所・所属先等の登録情報更新が可能です。転居・異動等の際は会員専用ページにアクセスし情報の更新をお願いいたします。

【新年度（2022年度）年間登録料は2022年4月第4週に発送いたしました】

公印付年間登録料請求書や領収書の発行をご希望の際は下記お知らせ記事の下部よりサンプルEXCELをダウンロードの上、返信用封筒を同封の上、ご依頼ください。

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/news/1879/>

【ログインID問い合わせ、請求書、領収書発行依頼先】

社会医学系専門医協会 事務局

E-mail：jbphsm@asas-mail.jp

FAX：03-5981-6012